

①大学・専門学校での出張型面談会

1	事業名	日本工学院専門学校秋季合同企業説明会
	開催日時	平成 29 年 4 月 19, 20 日 13:00~16:00
	会場	日本工学院専門学校 片柳アリーナ
	対象学生	2018 年 3 月卒業予定の IT・テクノロジー（19日）、クリエイター・デザイン系（20日）の学生
	開催形式	出張型の合同企業説明会
	概要	【参加企業】：19, 20 の二日間で全国から計 270 社、うち協会を通じての応募 5 社（建築、機械、IT、舞台装置、等） 【参加学生】：計 1, 719 名*19 日、20 日の 2 日間（蒲田校を中心に、姉妹校の八王子校・北海道校・東京工科大学・OB が数名）うち大田区企業ブース訪問者は計 147 名
	結果	1 社 内定計 2 名
2	事業名	城南職業能力開発センター大田校福祉調理科学内面談会
	開催日時	平成 29 年 9 月 4 日 15:00~16:30
	会場	城南職業能力開発センター大田校
	対象学生	福祉調理科に在籍する学生
	開催形式	出張型の合同企業説明会
	概要	【参加企業】：区内給食業者 3 社 【参加学生】：福祉調理科学学生 24 名
結果	1 社 内定計 2 名	
3	事業名	城南職業能力開発センター大田校エンジニア科等学内面談会
	開催日時	平成 29 年 12 月 14 日 13:10~16:00
	会場	職業能力開発センター大田校
	対象学生	エンジニア養成科・金型加工科・3DCADCAM科・板金溶接科に在籍する学生
	開催形式	出張型の合同企業説明会
	概要	【参加企業】：区内金属加工業者等 4 社 区外企業 1 社 【参加学生】： 39 名
結果	会社訪問 5 社 10 名 内定 2 社 2 名	
4	事業名	日本工学院専門学校秋季合同企業説明会
	開催日時	平成 29 年 10 月 10 日（金）13:00~15:55
	会場	日本工学院専門学校 片柳アリーナ
	対象学生	2018 年 3 月卒業予定の クリエイター、デザイン、ミュージック学科の学生
	開催形式	出張型の合同企業説明会
	概要	【参加企業】：計 111 社のうち大田区企業 2 社（デザイン・広告業等） 【参加学生】：494 名 うち大田区企業ブース訪問者は 81 名
結果	（今回の説明会による内定はなし）	

5	事業名	横浜商科大学 学内企業説明会
	開催日時	平成 29 年 11 月 24 日 (木) 13:30~16:00
	会場	横浜商科大学つるみキャンパス 5号館
	対象学生	2018年3月卒業予定の学生
	開催形式	出張型のミニ面接会
	概要	【参加企業】：計 21 社 うち大田区企業 8 社（製造・加工、人材派遣、不動産等） 【参加学生】：計 12 名（内訳：男性 10 名、女 2 名）※留学生 2 名 【面談回数】：計 12 回
	採用結果	1 社 内定計 1 名
6	事業名	工学院大学 大田区ものづくり企業ミニ面接会
	開催日時	平成 30 年 2 月 23 日 (金) 13:30~16:30
	会場	工学院大学 新宿キャンパス
	対象学生	2018年3月卒業予定の学部生・大学院生
	開催形式	出張型のミニ面接会
	概要	【参加企業】：計 4 社（製造業、建築業等）※大田区企業のみ 【参加学生】：計 5 名（内訳：男性 5 名） 【面談回数】：面接計 16 回
採用結果	1 社 内定計 2 名	

【概要】

本年度も中小企業にとっては厳しい売り手市場が続き、「人を採りたいが募集を出しても応募がない」という声は一層切実なものになったと感じる。大学との面談会は、早期内定率が高まるにつれ参加学生が減少し、出展企業が内定を出すことが困難になった。

このような状況を打開すべく、マッチングの対象を専門学校や職業訓練校に広げ、日本工学院専門学校や城南職業能力開発センター大田校と交渉を重ねた結果、本年度初めて面談会を開催するに至った。

開催は全部で 6 回となり、3 月 26 日現在内定は 9 人となった。専門学校・職業訓練校との面談会は、即戦力になる学生が豊富であり参加企業からは概ね好評であった。一方で内定が低調な面談会もあり、学校側とのミスマッチの有無や面談会自体の淘汰を含め来年度の課題として考えていきたい。

②Web ページ「おおたシゴト未来図」

大展示場を一日使用して行うリアルジョブイベント「ヤングジョブクリエイションおおた」に代わって、新たにウェブ上で区内中小企業の魅力を伝える新事業「おおたシゴト未来図」を昨年 12 月にスタートした。

<http://www.pio-ota.jp/shigotomirai/index.html>

若手求職者が気軽にスマホ等で見ることのできる区内企業のための魅力発信ページを、ということで委託業者と企画会議を重ね、単なる会社紹介に終わらない若者目線のページを目指した。初年度は、公募により若手採用と人材教育に熱心な区内企業 7 社を選び掲載した。

掲載企業へのアンケートによると、完成した掲載ページへの満足度は 100%（7 社中 7 社が「大変満足」または「満足」）であったが、課題としてあげられたのは、自社 PR ツールとして期待できるものの、若手求職者からの直接の反応が今ひとつという点だった。スタートしてまだ 3 カ月あまりのため、若年層への周知が十分行き渡っていないことも一因と思われる。委託業務の中には「若手求職者へのセミナーやネットを通じての広報活動」も含まれている。今後は、広報戦略の確認をしながら、周知活動を本格稼働するよう業者に強く働きかけ、また、当協会からも関係する学術機関への周知をする等、できる限りサイト知名度アップに努めていきたい。

以上